

CAMPUS

RIKKYO NIIZA



— FEATURE 特集

立教新座の自由

— INTERVIEW 卒業生インタビュー

「今の小さな積み重ねが
未来の大きな力になる」

NEWS

No.92

September 2025



立教新座中学校・高等学校

在校生に聞きました /

立教新座の 自由とは？



中学生も食堂が自由に使える！
高校はバイトも寄り道もOK。
それぞれが自立しているからだと思う。

中高
共通

子ヤペルや
礼拝があるけど、
信仰については
自由！



中高
共通

髪型は校則が
あまりなく自由。
男子校だから、
異性の目も気にならず
のびのびできる！



生徒主体の教育が
立教新座の特徴！
責任ある行動をしないと
いけないと思う。



中高
共通

生徒会(中学)や
学友会(高校)は
生徒に与えられる
裁量が大きいよ！



POINT

自由を尊重する中で、 生徒の「責任」と「自律」を育てる環境

立教新座では、学校生活のさまざまな場面で「自分で選ぶ」という機会が多くもたれています。決められたルール、決められた学びの中でただ過ごすのではなく、生徒一人ひとりが「自分は何に興味があり、何を学びたいのか」を自分で考え、自分で選び取る。その繰り返しが自主性を育み、同時に、選択には責任が伴うことを学びます。中学から高校と選択肢が広がり、自律した大人へと成長していきます。





広くて人工芝の
グラウンドで
サッカーができる！
学校の設備が
充実していてすごい。

高校

立大特別聴講生は
立教大学の図書館を
使うことができるよ！



高校

高校生になると、
服装も自由。夏はTシャツ
短パンが多いよ！



自分の判断で
自由に楽しめる学校
自由の校風があるからこそ
自律をすごく意識させられる。



部活動だけでなく、
日常の学校生活でも
自主性を求められる。
大学って自由だと聞くので、
それに近い環境なのかなと思う。

高校

高3になるとほとんどが
選択科目になって、
1・2時間目を空きコマに
することもできるよ！

先輩後輩も
あまり壁がなく、
なんでも話せる。
先生もフレンドリー。



POINT

「学びたい」を叶える 立教大学特別聴講生制度

高校3年生の希望者は、立教大学が開講している科目を選択科目として履修する「立教大学特別聴講生制度」と立教GLP（グローバル・リーダーシップ・プログラム）の「GL101」を受講する「立教GLP特別聴講生制度」を活用し、大学生とともに大学の授業を受けることが可能。修得した単位は、立教大学進学後の単位としても認められます。



みんな仲良くて、
伸び伸びした
学校生活が
送れているよ！

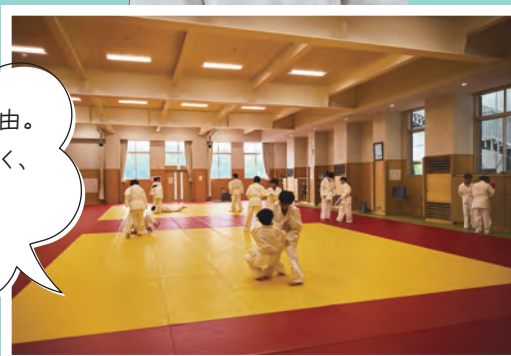
中高
共通

通学バックは
指定なし。
なんでもOK！



中高
共通

部活の入部は自由。
珍しい部活も多く、
選択の幅は
広いよ！



休み時間とか色々な
施設が使い放題。
男子校独特な
雰囲気がつってもいい！



高校

スマホの使用は
高校生になると完全自由！
理科の授業の実験で
活用することも。

自由＝責任。
先生たちも一人の
人間として接して
くれていると感じる。



☑ 制度としても認められている「自由」

自由なこと	中 学	高 校
服装	- 制服着用。夏はポロシャツ(白)OK - 制服のシャツは色(白・青・紫)から選択 - 靴は短靴であればなんでもOK	- 制服の着用は自由 - 私服OK(入学式、卒業式、礼拝などの式典時も)
時間割	- 中3の「英語2」では、5つのコース(SS, Speaking and Listening, Writing, Reading, Basic)から伸ばしたい分野を自分で選択 - 長期休業前に行う「補講」は希望制。「英語で数学」など、発展的に学ぶことができる	- 高2、3の体育は10種目から選択 90講座から選べる自由選択科目(高3) →講座を選ぶ自由+空きコマにする自由※ - 大学の授業が受講できる(特別聴講生制度) - 文理選択がなくそれぞれ科目を選択 ※月～金曜日の1・2時間目は自由選択科目。 3～5講座を履修するため、最大2日間(4時間分)を空きコマにすることができる
校外 研修旅行 (修学旅行)	5つのコースから自由に選択可能 (2025年度は道央、道東、 屋久島・種子島、関西、石垣島)	3つのコースから自由に選択可能 (中四国、九州、沖縄)
昼食	弁当を持参して教室や生徒ホールで食べたり、食堂のランチメニューを食べたり、売店のパンやおにぎりを買って食べたり、人それぞれ。食堂は中学生も利用可能	
進路選択	ほとんどの生徒が立教新座高校へ進学。 将来の目標に沿って、他校を受験する 生徒も一定数いる	- 立教大学の推薦枠は在籍者数より多く、 学内序列順で希望学部学科を選ぶ - 他大学受験も可能で、指定校も多数
国際交流 プログラム	海外留学・研修プログラムが10種類以上。 生徒自身の学びたいテーマ、学びたいペースに合わせて選べる	

NEW!!

海外研修の
選択肢が
また一つ
増えました

2025年度高等学校入学生より、
カナダへの学校代表派遣留学制度が新たに加われました。

カナダセントラル
オカナガン
公立学校区留学

高校2年次の9月から1年間、カナダ・ブリティッシュコロンビア州セントラルオカナガン地域の公立校5校のうちいずれかへ留学する制度で、定員は2名、希望者から選考されます。現地ではホームステイで生活し、授業のほかクラブ活動に参加することができます。

🔍 塩見校長からみた 立教新座の「自由」

立教新座中高は、校歌に「自由の学府」とあるように、自由を大切にしている学校です。「自由」と聞くと「好きなことができる」と想像するかもしれませんが、それは「真の自由」ではありません。自由に選び取った行動は、自分自身を向上させることもあれば、墮落させることもある。自由な行動の結果、他者を傷つける可能性もあります。自由には責任が伴い、自律と他者への配慮が必要です。生徒たちには、「自身を向上させる自由」を選び取る人間力を身に付け、「真の自由」を享受してほしいと願っています。

そして、生徒が「自分らしくいられる自由」も立教新座にはあります。どの生徒にとっても「いいんだ」と感じられる居場所となる、そんな「自由の学府」を皆で作っていきたいと思います。



校長 塩見 牧雄

INTERVIEW

卒業生インタビュー



PROFILE

白井 佑弥 さん

Yuya Shirai

公認会計士・税理士

2004年度卒業生／立教大学経済学部卒

1999年 3月 立教小学校卒業

2002年 3月 立教中学校卒業

2005年 3月 立教新座高等学校卒業

2008年11月 大学在学中に公認会計士試験合格

2009年 3月 立教大学経済学部

会計ファイナンス学科卒業

2010年 1月 監査法人に入社

2017年 9月 株式会社SAMURISE起業

“今の小さな積み重ねが未来の大きな力になる”

30歳の時に起業。やりたいことに没頭する毎日

2017年に株式会社SAMURISEを創業し、「MEMORY COMIC」と「そうぞくん」という2つのWebサービスをメインに事業を展開しています。「MEMORY COMIC」は、主に法人の広告・販促や採用活動などPR用の漫画を制作するサービスです。「Web完結型」という強みがあり、高品質かつリーズナブルな漫画をスピーディーに提供しています。500人近いクリエイターの方にご協力いただいており、幅広い絵のタッチから選択できるという点も大きな特長です。

「そうぞくん」は、Web上の簡単な入力だけで相続税申告書を作成できるサービスです。加えて、不安な方は、相続の専門家に相談することもできるため、どなたでも安心してご利用いただけます。まだ始まったばかりのサービスですが、市場の大きい分野で大きな可能性を秘めているため、日々やりがいを感じながら突き進んでいるところです。

元々、私は公認会計士として監査法人で働いていました（現在は、兼業として自身の個人事務所で公認会計士・税理士も務めています）。ベンチャー企業の上場支援や監査などに携わり、多くの刺激を受ける中で「自分も起業したい」という気持ちが強くなったのです。そしてMBAを取得するため働きながら夜間の大学院に通い、監査法人を退職後にSAMURISEを創業。やりたいことや好きなことに夢になれている今、自分の人生を自由に生きられていることを実感します。そうした道に進む決意ができたのは、立教新座の自由な校風の中で、さまざまなことに思い切り挑戦できた経験があったからかもしれません。

立教新座で育んだ「諦めない力」が今の自分を支えている

私は小学校から立教に通っていましたが、私が中学に入学した1999年は、まだ中学校は池袋にしかなくて、高校で池袋か新座を選ぶことができました。自宅から遠くなる立教新座を選んだのは、自由な校風や生徒の多

様性に惹かれたからでした。

高校時代の思い出として真っ先に思い浮かぶのは、部活動です。所属していたサッカー部の練習はとにかくハードで、一生分走ったのではないかとくらい、キャンパス内を何周も走り込んでいました。それに当時は人工芝のグラウンドではなかったため、毎日土まみれになりながら練習していたことを覚えています。それでも辞めずに続けられた理由は、正直自分でもわかりません。ただ一つ言えるのは、そういった日々が「諦めない力」を育ててくれたということです。会計士を目指した大学生の時、そして会社経営や新しい事業を展開する時、支えの一つとなっていたのは「諦めない力」でした。どんな経験も未来の自分を助けてくれるのだと、今はそう感じています。

立教では、良い刺激を与えてくれる友人にも恵まれました。公認会計士という狭き門に挑戦するきっかけを与えてくれたのも、大変な勉強をがんばることができたのも、高い志を持つ彼らがいたからです。切磋琢磨できる友人と出会える点も、立教新座の魅力と言えるでしょう。

一度きりの人生だから思い切り挑戦しよう

先日、高校1年生対象のOB講話会でキャリアに関するお話をしました。そこで生徒の皆さんにお伝えしたのは、AIやITが急速に発展する現代において、会計士や税理士を目指す“だけ”では戦えないということです。生徒の皆さんが社会に出る頃はさらにAIが進化しているはずで、土業の仕事においてテクノロジーに代替される部分はますます広がることが考えられます。そこで大切になってくるのは、たとえば「会計×○○」といったように、その掛け合わせで新しい何かを始めることではないでしょうか。常識に囚われず、自由に発想し行動することが大切だと感じています。

現代は、未来が予測できない時代、そして正解や近道がない時代です。だからこそ、「とりあえずやってみる」ことが重要なのだと思います。日々の小さな行動や努力の積み重ねが、きっと未来の自分を助けてくれます。一度きりの人生、せっかくなら楽しんでやりたいことに挑戦していきましょう。

（取材：2025年6月）

立教新座 公式Webサイト・SNS

Webサイト



Facebook



Instagram



LINE



note

